

いつまでも輝き続けるまち「はつらつ長瀬」

概要	人口減少・少子高齢化が急激に進む中、持続可能なまちづくりを実現するため、地形的制約により集落がコンパクトにまとまった特徴や県内有数の観光地であることを生かし、観光客などの交流人口・関係人口を巻き込みつつ、町民一人ひとりがいつまでも輝きつづけるまちを目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む状況下での、地域活力やコミュニティの維持・存続 ・厳しい財政見通しや人口構造の変化等を考慮した公共施設の維持管理や規模・配置の適正化 ・大規模災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地域交流拠点を活用した地域コミュニティの充実	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀬の運営 ・官民連携による空き家・市民農園を活用した農泊・農業体験を通じた関係人口と町民との交流のための地域拠点整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいづくり ・空き家等の利用
スマート	デジタル技術を活用した地域課題の解決	短中期 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による移動販売車を活用したオンライン健康相談 ・QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売 ・観光振興
レジリエント	災害時にも強い「持続可能な」まちづくり	短中期 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等による非常時における電源の確保 ・EV充電器や太陽光発電の整備によるGXの推進 ・官民連携による移動販売車を核とした地域交流の場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 ・カーボンニュートラル

いつまでも輝き続けるまち「はつらつ長瀬」

地域生活拠点エリア

主要な公共施設、スーパーマーケット・ドラッグストアなどの店舗、病院が集中しているエリア

コンパクト

地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀬の運営



レジリエント

太陽光発電等による非常時における電源の確保



スマート

レジリエント

官民連携による移動販売車を核としたオンライン健康相談や地域交流の場の創出



観光拠点エリア

観光名所である岩畳や宝登山神社があり、多くの観光客が訪れるエリア

スマート

QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現

レジリエント

EV充電器の設置によるGXの推進



コンパクト

官民連携による空き家・市民農園を活用した農泊農業体験を通じた関係人口と町民との交流のための地域拠点整備

